

商売をしていくうえで、常に悩みは尽きないものだと思います。

特に経営者として悩むのが、人ではないでしょうか？

例えば、社に巣食う問題社員。

「こいつさえいなければ…」という思い。わかります。

ですが、こういった社員がいなくなったとしても、遅かれ早かれまた問題はでてきます。

まず、こういった場合、経営者として大事なものは、こういった社員を入れないこと。

また、入れてしまったとしても、絶対に地位を与えないこと。

こういった社員に権限を与えてしまうと、いい社員が逃げてしまいます。

いや、こちらがいいと思う社員同士でもいがみ合うことはあります。

以前、こんなことがありました。社員同士の喧嘩。それも大々的に。

どちらも僕にとっては大事な存在。どちらも失いたくない。さて、どうするか？

結論だけいいますと、今でも二人とも辞めずにいます。

こういった場合、経営者として上手く裁けるかどうか？です。

究極。人で悩み、人で苦しむ。この覚悟ができる者こそ経営者として務まるのではないのでしょうか？

ちなみに、どう裁いたかって？

「悪いのは僕さ。君じゃない〜」（堺正章）です。